

令和5年度 青果物販売情勢について

令和5年7月27日（木）現在

【 果 樹 】

「もも」

京浜では中心階級の18玉、20玉は引き合いも強く安定した荷動きとなっている。大玉は山梨県産中心に残荷が見られ緩慢な荷動きとなっている。関西については、売り先からの注文も多く引き合いも見られ荷動きはスムーズな販売で相場は保合。

単価：（あかつき）特秀 15玉 3,700円-3,300円 18玉 3,500-3,100円

【 野 菜 】

「きゅうり」

東北産のピークを見込んでいたが、福島産は成り疲れ、他県では降雨の影響で数量少なく強保合となった。今後は東北産増量と成り疲れの回復など最大ピークを見越し売り場確保のため相場はジリ下げの見通し。

単価：5kg A品 1,900-1,600円

「ミニトマト」

東北産地の増量を見込んでいたが増量鈍く、引き合い強くなり堅調維持の保合となった。今後も増量を見込むが一定の注文も見られるため相場は弱保合の見通し。

単価：200g パック AM 160-150円

「いんげん」

福島県産の数量が大きなピークを迎えることなく減少期に入り荷動きは回復傾向で相場はジリ下げとなった。今後、高温による花落ち等によりさらに減少見込みから相場は上げの見通し。

単価：2kg 箱 A 1,800-1,500円

J A ふ く し ま 未 来
営 農 経 済 部 園 芸 課